

2020年9月10日

各位

株式会社TOKAI

LPガス基幹システム再構築とLPWA自動検針化の推進について

株式会社TOKAI（本社：静岡県静岡市、代表取締役社長：小栗 勝男、以下TOKAI）は、LPガス事業の業務を円滑かつ効率的に遂行するために基幹システムを再構築し、10月より運用開始致します。

また、基幹システム再構築と並行して、LPガスの検針業務において、LPWA（Low Power Wide Area：低消費電力広域通信）を利用した自動化を推進し、業務効率化を図るとともに、収集した検針データを活用して、配送ルートの最適化等に役立ててまいります。

これらの取組みにより、当事業におけるペーパーレス化とガス配達業務の効率化を実現し、CO₂排出量の削減へ貢献してまいります。

記

1. LPガス基幹システム再構築について

TOKAIは既存の基幹システムに部分的な機能追加・改修をすることで対応してまいりましたが、抜本的な業務効率化を図るためにには、AI・ビッグデータ・IoT等の最新ICTの活用、バックオフィスにおけるペーパーレス化等が不可欠であり、これらを実現すべく新LPガス基幹システムの構築を進めてまいりました。今後当システムを有効に活用していくとともに、機能を段階的に拡張することで、更なる業務効率化とコスト削減を図ってまいります。



2. LPWA による自動検針化について

昨今の LPWA 端末の登場により、低価格かつ高頻度な自動検針が可能となったため、昨年試験導入した LPWA 自動検針化を本格的に推進してまいります。

従来の検針担当者による 1 ヶ月に 1 回の手作業検針が、LPWA 端末による毎時間の自動検針に移行します。これにより検針業務のコスト削減につながるとともに、検針データを、お客様毎のマイページ（Web）での提供に 10 月より順次切り替えていき、郵送費圧縮・ペーパーレス化を図っていく予定です。

3. ビッグデータへの活用について

LPWA 端末による検針データは、お客様ごとに 1 時間に 1 回取得するため、お客様のガス残量の把握精度が格段に向上し、適切なタイミングで配送を行えるようになります（実証実験ではガスボンベの交換タイミングを、従来手法では 20% の残量で行っていたものが 6% の残量で行う事ができるよう改善）、また、AI による配送予測や配送ルートの最適化が可能になります、配送業務効率化や配送走行距離削減も期待できます。

そして、取得したデータはビッグデータとして、TOKAI グループ DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）「D-sapiens（略称：ディーサ）」とデータ連携することで、これまで把握することができなかつたお客様毎に生活パターンや行動パターンを予測し、新しいサービスや事業開拓につなげてまいります。

4. CO2 削減貢献について

石油や石炭などに比べ炭素排出係数が少ないクリーンエネルギーを扱う LP ガス事業者として TOKAI は、LP ガス基幹システム再構築および LPWA 自動検針化によるペーパーレス化、また、自動検針データの活用による配送業務効率化等によって CO2 削減に貢献してまいります。

以上